学校番号	220

令和５年度　家庭科

教科	家　庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	保育基礎　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇子どもの発達過程や保育などに関する知識と技術を習得しましょう。
・この授業は、保育基礎について学ぶ保育専門コースの基礎・基本の科目です。
・乳幼児期の発育や発達を中心とした学習内容、保育体験実習・演習に向けての子どもとの関わり方、様々な児童文化財の活用、子どもの生活についての全般を多様な演習・実習を通して学んでいきます。積極的に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する力と態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について、実際に子どもと関わる知識と技能を身につけている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて、思考を深め、適切に判断し、自身の考えを表現する能力を身に付けている。	乳幼児期を含む子どもに関する総合的な情報に触れ、子育て支援に関わる内容について自ら、課題に取り組んで学習し、発信することができる。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 評価レポート 発表 定期考査 実技テスト	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 評価レポート 発表 定期考査	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習記録表 評価レポート 発表 定期考査 実技テスト

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	子どもの文化	○子どもの文化 ・子どもの文化と文化を支える場 ＊演習　児童文化財で演じる DVD　児童文化財 ＊演習　子どもの文化を伝える ○子どもの遊びと表現活動 ・遊びと発達 ＊演習　伝承遊びを伝える ＊演習　児童文化財制作	a:児童文化財、子どもの遊びと発達や表現活動について理解し、学習に取り組もうとしている。 b:子ども文化を支える場、子どもの遊びと表現活動について、客観的に分析し、考察、表現しようとしている。 c:子どもを取り巻く遊び、文化財、について、いろいろな情報源を収集・整理して、自ら発信しようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	発表 制作品
	子どもの福祉	○子ども観 ・子ども観の変遷 ・権利の主体としての子ども ＊演習　子どもの権利条約について考える ○子どもの福祉 ・児童福祉 ・子どもを取り巻く課題、対策 ＊演習　子どもを取り巻く課題 テーマ学習 ○子育て支援 ・社会的養護 ・地域の子育て支援	a:子ども観、子どもの権利、福祉、子どもを取り巻く課題、その支援について意欲的に理解しようとしている。 b:子どもを健やかに育てていくためには、具体的な施策が必要であることがわかり、今後の施策の方向性などを判断することができる。子どもの発達には、人々との関わりを中心にさまざまな条件や要素が必要であることを理解し、その関わり方について思考している。 C: 子ども観、子どもの権利、福祉、子どもを取り巻く課題、その支援について自ら情報取集、整理し、発信しようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	評価レポート 発表

2学期	子どもの保育	○保育の意義 ○保育の方法 ・保育者の役割 ・一人ひとりに合わせた指導 ＊演習　保育場面でのケーススタディー ○保育の環境 ・家庭保育 ・幼児教育・保育の場 ＊演習　幼児教育・保育の場に関わる職業について考える ＊実習　幼児教育・保育の場で役立つ作品制作 ・子どもを取り巻く環境、課題 演習　子どもを取り巻く環境、課題につい考える	a：保育の意義について理解しようとしている。 b：家庭保育、幼児教育、保育の場で子どもへの適切なかかわり方について具体的に考え、まとめることができる。 c：保育に関わる者の果たすべき役割を自ら考え、実践に生かそうとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	評価レポート 制作品 発表
	子どもの生活	○子どもの生活と養護 ・生活と養護 ＊実習　子どもの世話 DVD　子どもの世話 ・栄養と食事 ＊調理実習 離乳食、幼児食、アレルギー対応食 ・衣生活 ＊実習　子どもの世話（着替え、おむつ交換） ○生活習慣の形成 ＊演習　生活習慣標語づくり ○健康管理と事故防止 ・子どもの健康管理 ・事故の防止と応急処置 ＊実習　チャイルドマウスをつくる ＊実習　応急処置	a：子どもの生活について、さまざまな課題や問題点を考え、学ぼうとしている。 b：離乳食、幼児食へと発育・発達に応じた食事、アレルギー対応食、生活習慣、健康管理と事故防止について考え、実践しようとしている。 c：子どもの世話、生活習慣、応急処置に関する実習に、自ら重要事項を確認し、課題を見つけて、身に付くように行動しようとしている。	授業観察 ワークシート 実技テスト 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	評価レポート 制作品 発表 実技テスト

3 学 期	子どもの発達	○子どもの発達の特性 ＊演習　動画　胎児の様子 幼児の生活 視聴を通しての考察 ＊実習　スプーンを使った微細運動 ○子どものからだの発達 ＊演習　胎児模型観察 ＊演習　新生児人形を用いる ＊演習　母子健康手帳の観察 ＊実習　脈拍測定 ○子どもの心の発達 ＊演習　子どもの描画の観察 ＊演習　電子メディアの乳幼児への影響の考察	a:人の発達の特性、特に子どもの特性について理解しようとしている。 b:新生児期から乳幼児へと続く人の発達への過程と、その生理的特徴について考え、判断し、学習しようとしている。 c:人の発達の特性についての学びをあらゆる面から考察し、まとめ、様々な方法を用いて、自ら発信し、広く、深く学習しようとしている。	授業観察 ワークシート 定期考査	授業観察 ワークシート 定期考査	評価レポート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度

※　＊は、ワークショップ、実習・演習・実験など実践的・体験的な学習活動や問題解決的な学習活動を示している。

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。